

## 令和6年度第2回佐久市スポーツ推進審議会 会議記録

日 時：令和7年3月24日（月曜日）

午後7時00分から午後8時30分

場 所：佐久市役所 南棟3階会議室

出席者：佐久市スポーツ推進審議会委員8名（欠席者2名）

事務局（社会教育部長、スポーツ課長、スポーツ課職員）7名

### 1 開 会

### 2 委嘱書の交付

### 3 自己紹介

### 4 あいさつ

### 5 会長・副会長選出について

佐久市スポーツ推進審議会条例第5条に基づき、委員による互選  
会長に篠原委員、副会長に大塚委員

### 6 議 事

#### （1）佐久市スポーツ推進審議会について（資料1）

事務局 資料1により説明

(2) スポーツ課所管事務について(資料2)

・令和6年度事業の実績(資料3)

・令和7年度事業の予定(資料4)

事務局 資料2、3、4により説明

委員 駒場公園プールの防水シート張り替え修繕は、どの箇所か。

事務局 令和6年度については、屋内プールの防水シートの張り替えを行った。屋内プールには、大プールと小プールがある。プールには、シートが貼ってあり、その上に水を入れているが、そのシートが所々破れていて、特に大プールについては、波を打っており、危険な状況だったので、張り替えを行った。来年度は、屋外プールの防水シートの張り替えを予定している。屋外プールについては、流水プールで距離も長いので、破れている個所を部分的にカッターで切って張り替える修繕を予定している。

委員 施設の備品を故意ではなく、練習中に壊れた場合は、弁償となるのか。どういふ対応をすればよいのか。現状で、ハードルが何個か壊れている。

事務局 壊れる原因は色々あると思う。経年劣化をはじめ、ハードルであれば、飛び越えられず強く打ち付けて破損するなどもあると思う。基本的に経年劣化であれば、市の方で修繕したり新しいものに取り替えを行う。しかし、競技の最中での破損で新しいものに取り換えとなると、割合などの関係もあるため、原因をしっかりと調査したうえで互いに話し合いを進めさせていただき、負担していただく可能性もある。いずれにしても、ケースバイケースとなりますので、そういった事例があれば、指定管理者にご相談いただければと思う。

委員 佐久総合体育館のサブコートには、バレーボールのコートがあるのに、メインコートには、バレーボールのコートがない。せっかく、冷暖房をつけていただき、高齢の方も夏の暑い時期でもできるようにしていただいたのにコートがない。そのため大きな大会があるときは、コートを作らないといけない。60歳、70歳の方たちの大会の時に、その方達がどうやってコートを作るのか。実際には協力しながらやっているが、テープを張ったりとても大変。他の体育館にはあるのに、なぜ総合体育館にはないのか。途中まではあったのに、引き直したときにバレーコートはラインテープで貼ってくださいと言

われて毎年苦労している。なので、今年こそはコートを作ってほしい。

事務局 令和7年度で予算の方を要求して、ラインについてフローリングも含め、工事を行う予定。

委員 備品の管理は、それぞれの指定管理者が行っているのか。

事務局 備品の管理については、それぞれの指定管理者の方で管理している。

### (3) 第二次佐久市スポーツ推進計画について（資料5）

事務局 資料5-1、5-2、5-3より説明

委員 令和4年度のスポーツ推進計画の策定にあたり、スポーツ課の方と障がい者スポーツ振興をどうしていくかお話をした。パラスポーツのあすチャレという事業等を通じて、子供たちや地域、社会の人たちに対してもパラスポーツ、障がい者スポーツの理解、促進については、アンケート結果の認知度より進んでいると思う。しかし、当事者に対しての活動の機会、継続的な活動の場の提供については、佐久市は進んでいないと感じる。当事者に向けてのイベントの機会、活動を私どもと連携しながら、進めてほしいと思う。当事者に向けての活動推進と、社会への活動推進は両輪だと思うので、そこら辺を捉えていただきたい。来年度から私たちと連携して、御代田町と佐久穂町では、当事者に向けての障がい者のスポーツ活動の創出ということで実際に動いている。佐久市でもイベントが沢山あることは承知しているが、障がいの方も一市民なので、事業の実施を推進していただければと思う。

事務局 なかなか当事者の皆様との交流が実施できていないので、今後色々相談したいと思う。令和10年には、アーチェリーの全障スポの競技が佐久市でも開催されるので、それに向けたアーチェリー自体もそうだが、パラスポーツに関しての意識醸成について、長野県全体としても取り組んでいくことを県の準備委員会で準備しているので、そういった動きとあわせて、一層の意識醸成、周知を図っていきたいと思う。

委員 参加してみたいスポーツ教室ってということで筋力トレーニングストレッチ教室が挙げられているが、もう3年4年ぐらい継続してやっている教室である。最初は、10数人から始まったが、今では40人近い方が参加している。

やっぱり年々意識が高く、参加する人が楽しんでできることは大事であり、始めるきっかけがあって、仲間や指導が良いことで、段々と輪が広がっていくことを感じる。先ほど障がい者の方の話があったが、何かいいきっかけを作っていくと、輪が広がっていくと思うので、幅広く取り組んでほしい。

(4) 佐久平ハーフマラソンについて(資料6)

事務局 資料6-1、6-2より説明

(5) 運動部活動の地域移行について(資料7)

事務局 資料7-1、7-2、7-3、7-4により説明

委員 課題の部分が予算面や指導者の確保ということで大人の目線が多いように感じる。子どもたち目線での意見として何かあれば教えてほしい。

事務局 学校の方へは、部活動の運営委員会の方に担当課で、市内の全中学校に出席している。そこでは、顧問の先生方や保護者の代表者からご意見をいただく機会を積み重ねているが、子供たちに直接話を聞く場の設定については、実施できていない。方針を策定する時には、アンケートを取り、意見は方針に反映しているが、生徒のみなさんとの対話については、方針を作る前から予定しているので、今後の休日の移行を進める中で、学校の方にお伺いしたり、あらゆる手段で生徒の皆さんの声を聞いていきたいと考えている。

委員 私の息子がサッカーを始めたきっかけは、佐久市で開催されたサッカーフェスティバルだった。以前は試合形式だったが、コロナ禍の後、プロの方々を招く形となった。子供にとってスポーツをやりたい、この競技をしたいと思うきっかけは、小学校から紹介されて、友達を誘って参加する流れが多いと思う。実際に息子も大会に参加して、みんなとサッカーをやる楽しさ、勝っていく嬉しさを味わって長くサッカーを続けた。そういうきっかけを作るのが、今やっただいている活動や学校でやっていただく部活動になると思う。息子の中学校の際には、顧問の先生が毎回指導するのが難しい状況となり、同級生の親御さんがサッカー経験者だったので、コーチをしていただいた。同級生の親御さんということもあり、非常に子供たちのことを捉え、顧問の先生ともやり取りをして、スムーズに活動が行えた。その延長がこの部

活動の地域移行ではないかと思う。実際にコーチをしていただいた方は、ほとんどお金を受け取っておらず、ボランティアのような形だったが、子供たちがしっかりとスポーツをする、楽しんでやるという目的がしっかりしていたため、続けられたのではないかと思う。そのような観点からも、子供たちの意見、保護者からの意見を引き続き聞いていただきながら活動をしていただければと思う。

委員 私は、子供たちのクラブチームをやっている。実際にスポーツ課にもお伺いして質問させていただいたりしているが、なかなか先が見えない状況。お手伝いはしたいが、本当に受け皿になれるのかということで、お聞きしたい。人材バンクの募集は佐久市のみとなるのか。それとも隣の小諸市や近隣の自治体も含めているのか。実際にクラブチームでやっている子供は、サッカーや野球をはじめ、市内の子どもだけでなく、色々なところから集まってきている。例えば、佐久陸上競技場を使用するクラブは複数あり、どんな風にクラブを選択していけばいいのか分からない。たまたま知り合いに佐久市の人ではないが、子供たちを集めてやってみたいとの声を聞いているが、募集についてはどの程度にどんな風に伝わっていくのか。口コミやホームページや総合体育館での募集のチラシを見て入ってくる子もいれば、兄弟や友達のつながりで入ってくる子もいる。青少年の健全育成の延長と部活の地域移行の接点をどのように捉えていいのか。その一つとして受け入れればいいのか。部活であれば、一つの中学校にある部活を合同練習として各学校同士で連携して行えるが、個人競技においては、どこにいてもいいという選択肢はあると思うが、そのあたりはどのように考えているのか教えてほしい。

事務局 人材バンクの募集を3月から始めて、まだ登録っていうのはこれからとなる。陸上、サッカー、バスケ、柔道など、クラブチームがいくつかある競技もあるが、全くない競技もある。協議会でもよく話が出るが、部活動の地域移行である。部活動をしていくのではない。私どもも気を付けていかないといけないのは、今ある姿を今のままやろうというのは無理なので、地域クラブは一つの手段ですし、私どもの方でクラブチームが全くない競技に対して連盟や協会などの競技団体を通じて育成をお願いする登録の仕方など色々だと思う。すべての競技にクラブチームを佐久市が立ち上げることは到底無理ですし、やろうとしてもやっていただけるスタッフの方がいないと無理なので、そこに捕らわれすぎるのは良くないという中で、色々な選択肢の中で子供や親御さんにどれが良いか選んでいく選択肢をできるだけ多く設けられる

のが市の理想として取り組んでいる。また、小諸市をはじめとした近隣の  
方々の参加については、部活動の人数が小規模である望月中学校は立科町の  
クラブと一緒にやっている合同部活みたいなものを実際にやっている。そう  
いった事も地域移行からすると、子供の数が昔に比べて圧倒的に減っている  
ため、ある程度広域に募集をかけないと人数が必要なチームスポーツはでき  
なくなってしまう。ただ、私どもは佐久市の教育委員会という中で、佐久市  
の生徒達を一番どうにかしないといけない。人材バンクの登録には、小諸の  
方、御代田の方であっても、近いから佐久市の子供たちを教えられるという  
ことであれば、登録いただいてもいいと思う。例えば、住所が佐久市でなくて  
も、勤務先が佐久市の方もいると思うので、積極的に登録いただければと思  
う。現在、各市町村の教育委員会ごとで四苦八苦しなながら暗中模索のなか取  
り組んでいる。この間の協議会でも保護者負担の軽減で補助金を作れという  
話が出ており、実際にやり始めている自治体もあるとの話をいただいた。補  
助金について佐久市では出せていないが、佐久市では一人の子供にいくら出  
します、小諸市ではいくら出しますなど金額が別々になってしまう可能性がある  
ある。広域で来ている同じチームでも佐久市にいる子は来やすく、小諸に  
いる子は来にくいということが起きてしまう。そのバランスを検討していく  
中で、より良い姿を見つけられればと思う。話をすることは簡単だが、具体  
的にどうなんだといわれると現状では全く話ができる状況ではないが、段々  
に検討をしていき、より良い方向となるように努めていきたいと思う。

## (6) その他

### 7 その他

サン佐久スポーツクラブ事業について

### 8 閉 会

※備 考

傍聴人 なし